

VDA Automotive Sys Conference における最新動向

(大野)

過日 5 月 10 日から 12 日の 3 日間で、第 10 回 VDA Automotive SYS Conference が開催されました。今回のカンファレンスはコロナ禍の状況を受け、本イベントとしては初のオンライン形式での開催となりました。カンファレンスではセーフティ、セキュリティ、自動運転や AI などのテーマが多く扱われていましたが、業界の関心の高まりはそれらの要素をどう評価していくかという点にも感じられました。この点に関して、様々なノウハウに加えて規格やガイドライン整備の面での最新情報がシェアされましたのでここでご紹介いたします。

まずは、Automotive SPICE for Cybersecurity（以降、Automotive SPICE for CS）に関する動向をご紹介いたします。Automotive SPICE for CS は、プロジェクトにおいてサイバーセキュリティリスク管理とセキュア設計を適切に実施するために役立つプロセスモデルですが、その内容を正しく理解して最大限ご活用いただくにはやはりセミナーやトレーニングを通じて知識を得ていただくのが近道と言えます。今回のカンファレンスでは VDA より、Automotive SPICE for CS 向けトレーニングの提供が 2021 年後半に開始されると報告されました。本トレーニングは従来の Automotive SPICE 向けトレーニングとは別に用意される 3 日間のトレーニングです。ただし、このトレーニングはまずドイツ国内でトライアル実施されるため、日本でトレーニングを受けられるのは 2022 年以降となる見通しです。弊社では本トレーニングを、運用開始と共に日本で提供できるよう準備を進めてまいります。最新情報はまたメルマガやウェブページよりお伝えいたします。

また、Automotive SPICE for CS の精査と並行して Automotive SPICE ガイドライン（通称 Blue-gold book）の改訂も進められており、Automotive SPICE for CS の要素を組み込んだガイドラインが 2021 年第 3 四半期にリリース予定となっています。Automotive SPICE for CS のアセスメントを実施する場合は、通常のアセスメント + 2 日の日数が想定されています。

続いては国連下部組織の WP.29 が公開したサイバーセキュリティレギュレーション UN-R155 に関連する話題で、UN-R155 が要求する CSMS への適合を監査するための質問事項と評価基準を示すガイドライン「Automotive Cybersecurity Management System Audit」（以降、ACSMS Audit）が VDA より紹介されました。このガイドラインは 2020 年 11 月に正式公開されています。UN-R155 は OEM を対象としたレギュレーションであるため、本ガイドラインは行政機関が OEM を監査する際に利用することを主眼に作成されています。一方で、サプライチェーンに対する CSMS の要求および評価の方法には複数の選択肢が存在する状況です。関係企業間で会社レベルの契約を締結したり、自動車業界向け情報セキュリティ基準の TISAX を活用したりするほか、欧州の OEM においては Automotive SPICE for CS を用いて要求/評価を行う動きもあるようです。

Automotive SPICE 4.0 に関しては、従来のプラグイン領域間の重複を整理して統合エンジニアリングフレームワークとして生まれ変わるべく改訂が進められています。この改訂では、AI や継続的デベロップメントといった最先端の手法の取り込みも視野に入れており、リリースは 2022 年末頃と説明されています。



その他の話題として、カンファレンス前日には参加型のワークショップが実施され、用意されたセッションの半数が Automotive SPICE に関するものとなっていました。これらのワークショップを通じては、以下のような Automotive SPICE アセスメントのトレンドが強く感じられました。

- Blue-gold book の適用は当たり前になってきている
- それに伴いアセスメントの日数はより増える傾向にある
- 一方で評定のバラつきや不正確なアセスメントは依然として多い

弊社ではこうした現場の状況に対して新たな手法や解決策を模索しており、より効率的かつ正確なアセスメントを実施するためのトレーニングやツールの提供を近日中にアナウンスいたしますのでご期待ください。

今後も弊社はメルマガやセミナーなどで Automotive SPICE for CS や Automotive SPICE 4.0 などの最新の情報をお伝えしてまいります。

2021/5/14 大野 貴正